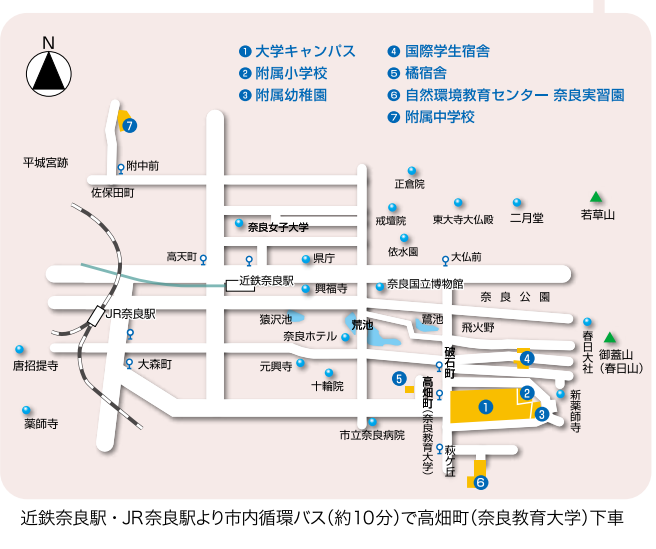
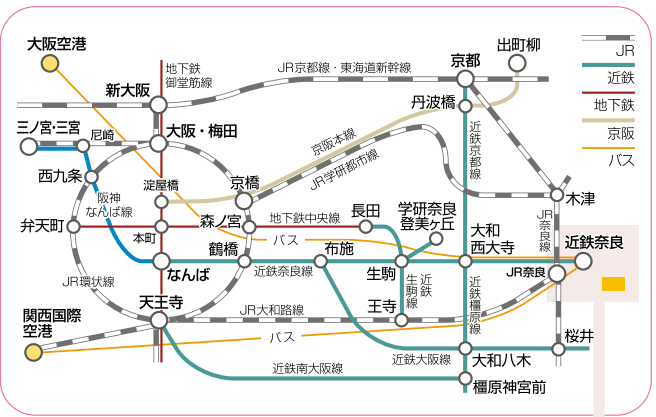


奈良教育大学アクセスマップ

主要駅から奈良までの所要時間

大阪	約50分	京都	約45分
なんば	約35分	三宮	約80分



このリーフレットは概略版です。詳細な数値や情報につきましては、大学概要 2017 (URL : <http://www.nara-edu.ac.jp/guide/bulletin/>) や 本学ホームページ (URL : <http://www.nara-edu.ac.jp/>) をご覧ください。

特に記載のない限り、掲載データは平成 29 年 5 月 1 日現在

編集・発行 / 国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL 0742-27-9104
E-mail kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp
奈良教育大学ホームページ <http://www.nara-edu.ac.jp/>

建物配置図 教育学部・附属小学校・附属幼稚園



建物情報 奈良教育大学・附属小学校・附属幼稚園

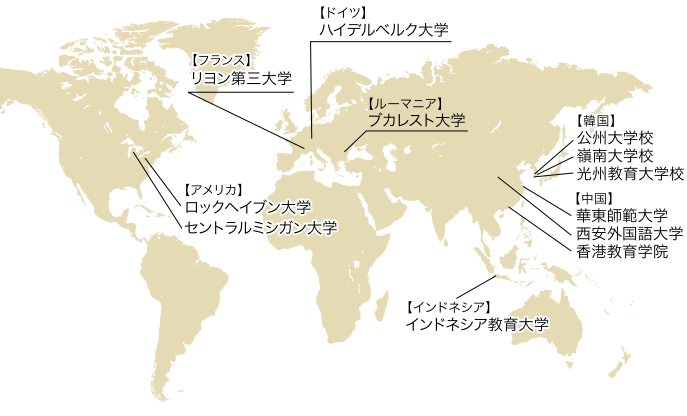
R1 理科1号棟 Research Building (Science 1)	R10 美術・書道実習棟 Research Building (Arts & Calligraphy)	1 本館管理棟・保健センター Administrative Building / Health Care Center	10 学生会館・山田ホール Students Hall / Yamada Hall
R2 理科2号棟 Research Building (Science 2)	R11 文芸棟 Research Building (Humanities)	2 図書館 University Library	11 学生食堂 Cafeteria
R3 技術棟 Research Building (Technology)	R12 文芸棟 Research Building (Humanities & Arts)	3 次世代教員養成センター1号館(京阪奈三教育大学連携推進室) Teacher Education Center for the Future Generation 1	12 特別支援教育研究センター Center for Special Needs Education
R4 新館1号棟 Research Building (PE)	R13 教職大学院棟 Research Building (School of Professional Development in Education)	4 次世代教員養成センター2号館 Teacher Education Center for the Future Generation 2	13 理数教育研究センター Center for Educational Research of Science & Mathematics
R5 新館2号棟 Research Building (Mathematics & Pedagogy)	L1 講義1号棟 Lecture Building 1	5 情報館 Information Processing Facilities	14 国際交流留学センター Center for Intercultural Exchange & Studies
R6 新館3号棟 Research Building (Japanese)	L2 講義2号棟 Lecture Building 2	6 教育資料館 Museum for Historical Materials of Education	15 聖栄館 Neirakukan Hall
R7 音楽棟 (B) Research Building (Music)	L3 講義3号棟 Lecture Building 3	7 講堂 Auditorium	16 舞踊場 Dance Hall
R8 音楽棟 (A) Research Building (Music)	L4 講義4号棟 Lecture Building 4	8 武道場 Common Facility for Extracurricular Activities	17 武道場 Common Facility for Extracurricular Activities
R9 美術棟 Research Building (Arts & Tech)		9 体育館 Gymnasium	18 弓道場 Japanese Archery Field

設備情報

エレベーター	多目的トイレ	食堂・売店	AED
バス停留所	駐車場	案内	

国際交流

国際交流協定締結校



海外派遣留学生 (平成29年度出国)

派遣先大学	人数
セントラルミシガン大学(アメリカ)	1
リヨン第三大学(フランス)	2
ハイデルベルク大学(ドイツ)	1
計	4

外国人留学生

区分	国籍	インドネシア	フィリピン	ブータン	韓国	中国	台湾	タイ	ドイツ	フランス	ブルガリア	ポーランド	ルーマニア	アメリカ合衆国	チリ	計
国際留学生	研究留学生										1				1	1
	教員研修留学生		1	1				2								4
	日本語・日本文化研修留学生	1										1	1		1	4
	学部学生				1	3										4
私費留学生	大学院学生					11										11
	学部研究生					14										14
	大学院研究生															0
	特別聴講学生				1	3	1		2	1				1		9
計		1	1	1	2	31	1	2	2	1	1	1	1	1	1	47

地域連携

ならやまオープンセミナー

地域や市民の皆様を対象とした公開講座、セミナー、シンポジウムなどを開催しています。詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/courseindex/> をご覧ください。

平成29年度開講講座

講座名	対象
親子で学ぶ奈良～なら町昔フォト探検	小学生～中学生及び親子
傷害予防塾～ケガ予防に対する児童生徒の主体的な取り組み支援～	大学生～高校生、教員、保育士、スポーツ指導者、一般の方
畑で汗を流しませんか	一般の方
(他5講座)	

フレンドシップ事業

教員の養成段階において、本学学生が様々な体験活動を通して子どもたちとふれあい、子どもたちの気持ちや行動を理解し、実践的指導力の基礎を身につけることを目的に、様々な事業を実施しています。詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/general/friendship%2023index.html> をご覧ください。

平成29年度実施事業

事業名	対象
書道を楽しむ	高校生60名
飛行コンテスト	小学生(4～6年生)25名
わくわくアートプロジェクト	曽爾村立曽爾小学校児童

オープン・クラス

大学を生涯学習の場として活用するという社会的要請に応えるほか、地域社会と大学との連携を深めることを目的に、大学の一部授業を学生と共に受講いただけるようにしています。(平成 28 年度受講者数) 51 科目 のべ 98 名
詳細は http://www.nara-edu.ac.jp/graduate/open_class/ をご覧ください。

学校図書館司書教諭講習 (文部科学省委託事業)

学校図書館司書教諭資格のために必要な「学校経営と学校図書館」、「情報メディアの活用」、「読書と豊かな人間性」、「学習指導と学校図書館」、「学校図書館メディアの構成」の講習を開講しています。(平成 28 年度受講者数) 5 科目 のべ 136 名
詳細は <http://www.nara-edu.ac.jp/students/books.html> をご覧ください。

教員免許状更新講習

奈良県内の大学・短期大学・その他の機関と連携して、教員のニーズに応じた多様な講習を実施しています。(平成 28 年度受講者数) 必 修: 4 科目 のべ 740 名
選 択: 19 科目 のべ 717 名

教育職員免許法認定講習 (文部科学省委託事業)

特別支援学校並びに小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校の教員を対象に、特別支援学校の教育職員免許状を取得するために必要な講習を開講しています。(平成 28 年度受講者数) 3 科目 のべ 184 名

施設利用

講堂、グラウンド、テニスコートや講義室などを、地域や市民の催しなどでご利用いただけます。(ただし、本学行事・授業・課外活動などの関係上、ご希望に添えない場合があります。) 詳細は http://www.nara-edu.ac.jp/general/facility_utilization.html をご覧ください。

教育研究に係る連携協定

教育や研究、学生ボランティアの派遣などについて、奈良県内外の教育委員会や各機関と連携協定を締結しています。

協定先	主な目的等
奈良県	「地域の教育力」を再生する方策に関する調査・研究
奈良県くらし創造部	「地域の教育力」モデル地域調査事業
奈良県教育委員会	実践総合センターと県立教育研究所との、いじめ、不登校問題等教育諸課題への取組に係る連携教育連携に係る包括協定
奈良県立平城高等学校	教育連携協定
奈良県立高田高等学校	教育連携協定
奈良県立山辺高等学校	理数プロジェクト高大地域連携事業に関する協定
奈良県立青柳中学校・高等学校	理数プロジェクト中高大地域連携事業に関する協定
京都大原学院(小中一貫校)	教育連携協定
奈良市	教育連携に係る包括協定 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 幼稚園、小学校・中学校への学校教育活動支援事業(スクールサポート)派遣と相互の教育支援・充実 「先導理数プログラム」推進事業 包括協定事項追加(教員養成GP「健的場面」) 学科指導教室「ASU」への学生(学習チューター)派遣と相互の教育支援・拡充 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
奈良市教育委員会	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
大和郡山市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
天理市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
生駒市	教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教職大学院における実践的カリキュラム等の実施協力 教育連携に係る包括協定
曽爾村	教育連携に係る包括協定
平群町	包括連携協力に関する協定
山添村	包括連携協力に関する協定
奈良工業高等専門学校	教育研究等の協力協定
奈良女子大学	教員養成の高度化に関する連携協定
帝塚山大学	教員養成の高度化に関する連携協定
天理大学	教員養成の高度化に関する連携協定
奈良大学	教員養成の高度化に関する連携協定
京都府教育委員会	小中学校への学生派遣による支援、学生の資質向上と実践的指導力の育成 教員を目指す学生等の資質向上と実践的指導力の育成 学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 連携協力に関する協定
京都市教育委員会	連携協力に関する協定
陸前高田市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
茨木市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
八尾市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等 八尾市教育委員会と奈良教育大学の連携協力に関する協定
柏原市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
千早赤阪村教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
堺市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
羽曳野市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
東大阪市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
交野市教育委員会	学生ボランティア派遣と相互の教育支援等
神戸市教育委員会	「スクールサポーター制度」実施に係る協定
高エネルギー加速器研究機構	教育研究等の協力
奈良市(南)ワイルドホールディングス	奈良市立高等学校を対象とした教育改革施策の企画、実行に関する協定
教員研修センター	連携・協力に関する協定
五條市	五條市と奈良教育大学との包括連携協力に関する協定

単位互換に係る連携協定

協定先	協定締結年月日	主な目的等
放送大学	平成14年3月13日	学部単位互換
帝塚山大学、天理大学、奈良大学 奈良県立大学、奈良県立医科大学 奈良学園大学、奈良女子大学	平成20年3月10日	奈良県内大学間での学部単位互換
京都教育大学、大阪教育大学	平成25年3月21日	京阪奈三教育大学学部単位互換
奈良女子大学	平成7年12月25日	大学院単位互換
滋賀大学、京都教育大学 大阪教育大学、和歌山大学	平成8年1月30日	大学院単位互換

広報誌「ならやま」

本学の教育実践、研究内容、学生の活動状況等を受験生やその保護者等に紹介するための広報誌を発行しています。



機能強化経費採択状況

文部科学省は、第3期中期目標期間(平成28～33年度)において、国立大学の機能強化の方向性に応じた3つの枠組み(本学は「①地域貢献」を選択)により重点支援を行うこととされました。

区分	事業名称	採択年度	事業(計画)期間
プロジェクト	教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働により、教員養成・研修機能を強化する。	平成28年度	6年
	現代的教育的課題に対応するプロジェクトを組織し、その研究成果を発信・展開する。	平成28年度	6年
プロジェクト	ESDを核とした教員養成の高度化		(2年)※
	地域融合で築く理数教育研究拠点における実践的教員養成プログラムの開発		(2年)※
	学校教育体系全体を視野に入れたインクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮・ユニバーサルデザイン教育の開発		(6年)※

※()内は、取組予定期間

附属学校部

本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究、並びに教育実習計画に従い学生の教育実習を実施するため、附属中学校、附属小学校及び附属幼稚園を設置しています。

附属中学校	総定員	学級数	児童・生徒数						計
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
附属中学校	480	12	150	154	154				458
特別支援学級	24	3	6	6	5				17
附属小学校	540	18	88	86	88	84	88	85	519
特別支援学級	24	3		4		5	6		15

	総定員	年齢	学級数	園児数			
				3歳児	4歳児	5歳児	計
幼稚園	144	3歳児	1	24			135
		4歳児	2		57		
		5歳児	2			54	

奈良の地でー
学び創造、学び発信。

奈良教育大学
2017年 大学概要

なっつきん
LINEスタンプ
好評販売中!

ユネスコ・スクール加盟校
本学は、ユネスコが推進している理念を学校現場で実践することを目的として「ユネスコ・スクール」に、平成19年、日本の大学として初めて加盟しました。

奈良教育大学
イメージキャラクター
「なっつきん」

目的

奈良教育大学は、学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図ることを目的としています。

基本的な目標

奈良教育大学は、創立以来の学問・学芸を尊ぶ学風を継承し、学芸の理論とその応用とを教授・研究することにより、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命とします。第3期中期目標期間においては、ミッションの再定義を踏まえ、地域の義務教育諸学校の教員養成機能に関して中心的役割を果たします。さらに、「学び喜びを知り、自ら学び続ける」教員の養成を志向するユネスコスクールとしての実績を発展させ、持続可能な開発のための教育の推進拠点としてその理念に立った研究と実践を進めることにより地域の教育の発展・向上に寄与します。

特色（奈良教育大学の3つの柱）

1. 「少人数教育」による教育・研究の充実

本学は、対話形式を重視した学生参加型の授業、研究室ゼミにおける懇切丁寧な卒業論文指導を行っています。小規模大学の特性を生かした「少人数教育」に基づく充実した指導によって、確かな学力の基盤のうえに、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力といった学びを創造し、その成果を発信する力を着実に身につけることができます。本学の卒業生に対するアンケート結果では、本学で学び、本学を卒業したことへの満足度が8割を超え、その理由として学生と教員との距離が近いことが特に多く挙げられています。「少人数教育」は、まさに本学の特色と言えます。

2. 「奈良・世界遺産」を生かした教育・研究の充実

本学は、古都・奈良の中心に位置し、豊かな自然と世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。世界中から観光客が訪れるこの地でキャンパス・ライフを送ることは、国際交流、異文化理解、日本文化理解にとって、得がたい経験となります。本学は、その利点を生かして、講義や行事、教育活動において、奈良特有の自然環境や文化遺産に触れ、その理解を深めるさまざまな機会を設けています。近隣の国立博物館との交流も積極的に行っています。このような体験や学習を通じて、日本の伝統文化への理解やそれを外へと発信する国際感覚を養うことができます。

3. 「体験型キャリア教育」による教育・研究の充実

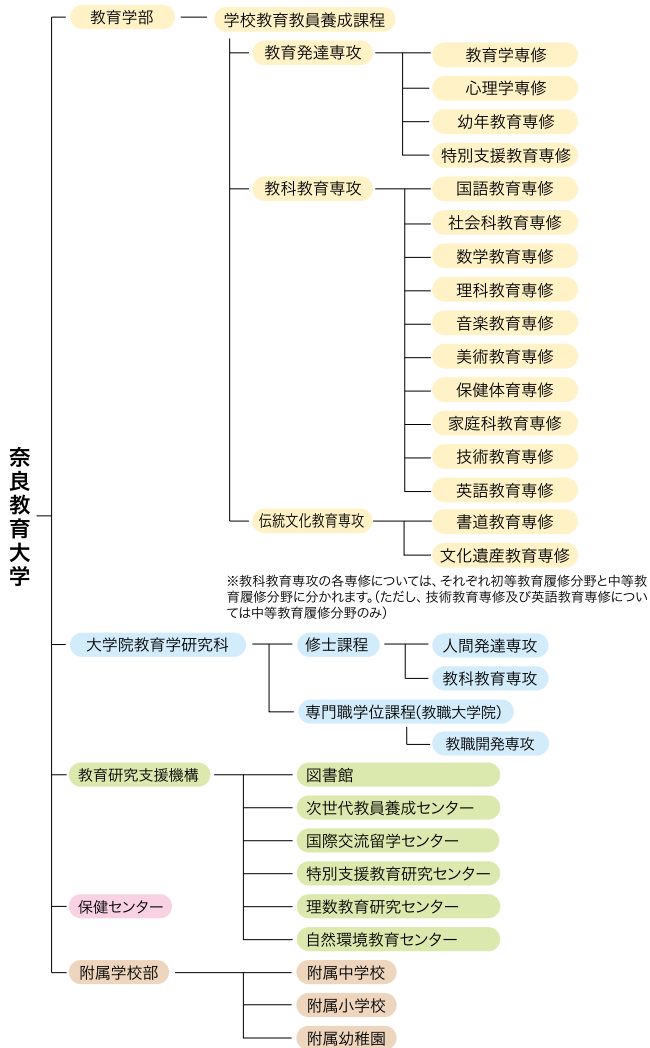
本学は、全国の先導的取組として「理数科離れ」に対応した「理数科教員養成プログラム」をはじめとして、県内各地・学校との連携による実践的で専門性に優れたキャリア教育を充実させています。また、教育委員会との連携により、学校教育支援活動として学生ボランティアによるスクールサポーターを学校・園へ派遣するなど教員養成大学の特性を活かした地域への貢献活動を行うとともに、スクールサポーターとしての力量を高めるための研修も行っています。入学から卒業まで一貫した体験学習を含むこのような取組を通して、社会から要請される実践的指導力を育成することができます。



歴史

明治 7(1874)年 教育伝習所として興福寺内に「寧楽書院」創設
明治 8(1875)年 奈良(小学)師範学校と改称
明治 21(1888)年 奈良県尋常師範学校創設
昭和 24(1949)年 国立学校設置法の公布により奈良学芸大学設置
昭和 41(1966)年 奈良教育大学と改称
昭和 58(1983)年 大学院教育学研究科修士課程設置
平成 16(2004)年 国立大学法人法の公布により国立大学法人奈良教育大学設置
平成 20(2008)年 大学院教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)設置
創立 120周年(奈良県尋常師範学校創設より)
平成 24(2012)年 教育学部改組(入学定員 255 名すべてを学校教育教員養成課程で募集、総合教育課程の募集停止)
京阪奈三教育大学連携推進室を設置
平成 26(2014)年 大学附置センターを再編
平成 28(2016)年 大学院教育学研究科を改組(特別支援教育特別専攻科を廃止)

教育研究組織機構図



教育学部紹介

学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校といった学校種についての学びとともに、それらの枠をこえ、幼児・児童・生徒の発達を基軸にした実践力豊かな教員を養成する課程です。主として「義務教育を幅広く見渡すことのできる力量」「異校種に柔軟に対応できる教育的力量」「授業・教育指導のための実践的力量」「特別な支援を必要とする子どもに対する臨床的力量」「現代的課題への積極的な対応力」の形成をめざしています。

大学院紹介

教育学研究科(修士課程・専門職学位課程(教職大学院))

教育学研究科は、学校教育に関する学問の体系及びその応用としての教育実践、教育臨床の高度化と多様化に応えるため、教育研究の学問的基礎力と現代的な教育課題への対応力を備え、専門的な能力と優れた資質を有する高度専門職業人としての教員・教育者を養成します。また、現職教員に対する教育や研修の一層の充実をめざしています。

取得可能な教員免許状・資格

学校教育教員養成課程

- 幼稚園教諭一種
- 小学校教諭一種
- 中学校教諭一種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
- 高等学校教諭一種(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、工業、家庭、英語、情報^{※1}、書道^{※1})
- 特別支援学校教諭一種(「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教育の領域」「病弱者に関する教育の領域」)
- 養護教諭一種

大学院【修士課程、専門職学位課程】

取得しようとする専修免許状にかかる一種免許状を有する場合、必要な単位を修得すれば所属専攻・専修に応じた専修免許状の取得が可能です。

取得可能な資格

- 社会教育主事
- 学校図書館司書教諭
- 保育士(教育発達専攻^{※2} 幼年教育専修の学生に限る)
- 博物館の学芸員
- スポーツ指導者
- 認定心理士(教育発達専攻^{※2} 心理学専修の学生に限る)
- 教育支援人材(こどもパートナー・こどもサポーター(学校活動支援)・こどもサポーター(バリュースル)・こどもサポーター(ESD)・こどもサポーター(ICT活用))
- 学校心理士申請のための基礎資格(大学院修士課程 教育・心理専修^{※3} の学生に限る)
- 臨床発達心理士申請のための基礎資格(大学院修士課程 発達教育臨床専修^{※4} の学生に限る)

※1 平成24年度以降入学者のみ。

※2 平成23年度以前入学者は「教育・発達基礎コース」。

※3 平成27年度以前入学者は「教育心理学専修」。

※4 平成27年度以前入学者は「教育臨床・特別支援教育専修」。



学生数

	収容定員	男	女	計
学校教育教員養成課程	1,020	484 (1)	521 (3)	1,105 (4)
総合教育課程	—	2	1	3
教育学部計	1,020	486 (1)	622 (3)	1,108 (4)

修士課程	90	43 (4)<1>	37 (7)<5>	80 (11)<6>
専門職学位課程(教職大学院)	50	32 <8>	30 <9>	62 <17>
大学院計	140	75 (4)<9>	67 (7)<14>	142 (11)<23>

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

教職員数

学長・理事	大学教員	附属学校園教員	事務職員
3	99	71	62

非常勤教職員は除く。

平成29年度入学状況

■教育学部

	専	修	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修	15	130(2)(2)	16	16
		心理学専修	15	72(1)	16	15
		幼年教育専修	13	90(1)	13(1)	13(1)
		特別支援教育専修	12	99	13	12
	教科教育専攻	国語教育専修	25	116	27	27
		社会科教育専修	25	118	27	27
		数学教育専修	26	121	29	27
		理科教育専修	29	135	30	29
		音楽教育専修	18	73	20	19
		美術教育専修	11	50	11	11
		保健体育専修	19	126	21	21
		家庭科教育専修	9	60	12	12
	伝統文化教育専攻	技術教育専修	4	40	5	5
		英語教育専修	12	87	13	12
		書道教育専修	15	107	16	16
		文化遺産教育専修	7	46(1)	8(1)	8
計			255	1,470(5)(2)	277(2)	270(1)

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は帰国生徒特別入試を外数で示す。

■大学院

専	攻	等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
修士課程	人間発達専攻	人間発達専攻	9	10 (3)(1)	4 (2)(1)	4 (2)(1)
		教科教育専攻	36	37 (8)(2)	27 (6)(2)	26 (5)(2)
専門職学位課程(教職大学院)	教職開発専攻	教職開発専攻	25	42(9)	29(8)	23(8)
		計	70	89 (11)(12)	60 (8)(11)	53 (7)(11)

()内は外国人留学生数を外数で示す。< >内は現職教員数を内数で示す。

学生支援・学生の取組

▶奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的に修学が困難と認められる学生を対象に、学費援助の一環として奨学金制度があります。

■奨学生

		学部	大学院	計
日本学生 支援機構	無利子(第1種)	161	20	181
	有利子(第2種)	159	11	170
その他		2	0	2
計		322	31	353

▶入学科及び授業料の減免

経済的理由によって入学科、授業料の納付が困難で、かつ学業成績優秀と認められる者を対象として、入学科、授業料を免除及び徴収猶予する制度があります。平成28年度には、在学生の12.2%が免除を受けています。

▶学生企画活動支援事業

本学学生自らが企画する事業の内、優れたものに対して、大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験をさせることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、より優れた教員として、また、社会人として成長することを目的としています。

■平成29年度採択事業

事業名	開催日・期間	内容	対象	場所
楽園ふれあいコンサート ～音楽に親しんでらおう～	通年	地域の幼稚園・保育園や福祉施設で楽器の演奏会を行い、生の音楽や楽器に触れることで音楽の楽しさや美しさを伝える。	地域の方、幼児等	奈良県内の幼稚園・保育園及び福祉施設等
作って楽しい造形ひるばひ ～第17回「造形ひるばひ」～	平成29年 11月3日	「ものづくりを通して交流する場を提供し、普段の生活ではあまりできない造形活動を地域の子どもたちと実施する。」	地域の児童・生徒とその保護者	本学
なっちゃん'sキッチン	通年	調理を行うことで食の楽しさを味わい、それを通して食の大切さに気づき、学生の意識向上を図る。	本学学生	本学
学生オペラ2018 「ねえ、地獄行かない?～ 本当の幸せはどこにある?」	通年	学生オペラ「ジャック・オン・フェン」バック作曲「天国と地獄(地獄のオラフ)」	一般の方・本学学生	本学講堂
秋のおでかけ 障害のある子ども達に楽園を ～互いに学び交流しよう～	平成29年 10月14日	障害のある子ども達に普段経験することのできないような体験型施設を見学する日帰り旅行を実施する。	障害のある子どもとその保護者	名古屋港水族館
ESD実践勉強会 ～古都奈良からみらいへ～	通年	学生のユネスコ活動、ESD活動への興味関心を増進させるための勉強会を開催する。	本学学生	本学、奈良市青少年野外活動センター及び広島大学
手話(聴覚障害者の言語)を学ぶ	通年	聴覚障害者を講師に招き、手話を学び、聴覚障害者の生活を知る。手話を始めとするコミュニケーションの多様性や障害理解の普及に努める。	本学学生	本学

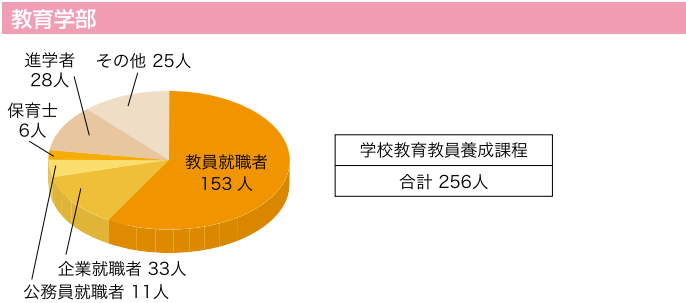
http://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/extra-curricular/planning.html



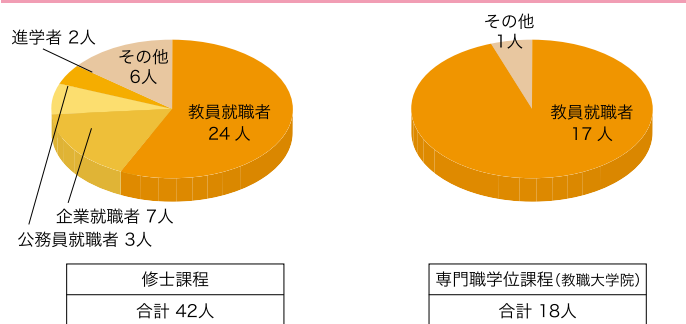
就職支援・進路

就職支援室を設置し、様々な対策講座や模擬面接、模擬授業、実技試験の練習場所開放などを行っています。また、教員採用試験受験者向けと企業就職者向けにそれぞれ就職相談員を配置しています。

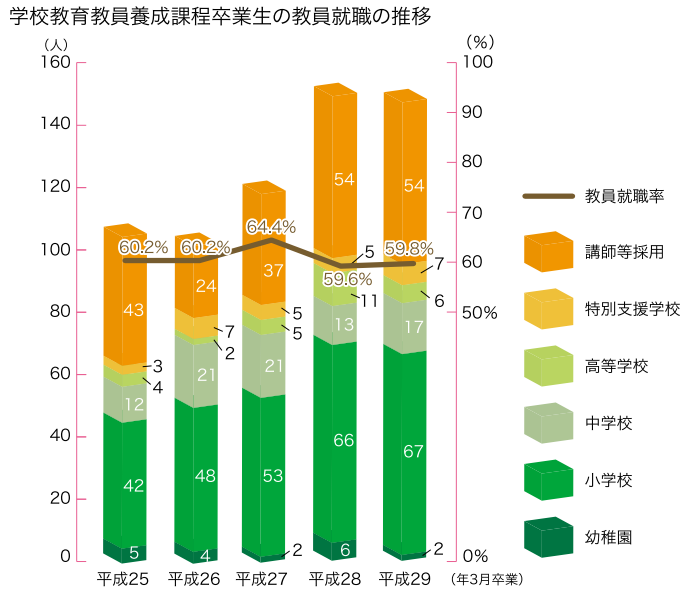
卒業生の進路先



大学院



過去5年間の教員就職者の推移



教育研究支援機構

▶図書館

教育・研究のため、図書・雑誌を揃え、学生及び教職員のほか、地域の方へも貸出しています。また、文献検索及び文献所在調査等により、調査・研究の援助を行っています。教員志望の学生が実践的教育力や指導・課題探究の向上を図るため、多様な学修活動に対応した「学修空間」として「ラーニング・コモンズ」や「グループ学習室」、「えほんのひろば」を設置しています。

■蔵書数

	和書(冊)	洋書(冊)	計(冊)	和書(種)	洋書(種)	計(種)
蔵書数	288,563	46,642	335,205	5,178	876	6,054
平成28年度受入数	3,938	728	4,666	706	38	747

▶教育資料館

我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料の収集及び展示が行われています。また、教職員及び学生による特別展や企画展も開催しています。

▶次世代教員養成センター

教員養成の高度化と質保証を目的とする京阪奈三教育大学連携推進事業の一環で設置された「連携拠点」の一つとして、平成25年7月1日に設置されました。ICT活用を含む実践的教育力・指導力の向上、課題探究力の向上を図るとともに、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21世紀社会を牽引する人材である次世代の教育を担う教員の養成に寄与することを目的としています。センターは、「情報教育部門」「ESD・課題探究教育部門」「情報基盤部門」の3部門で構成されています。

▶国際交流留学センター

文化多様性教育に関わる実践的、理論的研究を学際的に、国際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、国際交流協定大学などとの交流・連携に関わることで、派遣・受入留学生を支援し教員養成大学としての国際交流を推進することを目的としています。

▶自然環境教育センター

学生・児童・生徒及び地域住民に、授業、公開講座並びに自然教室などの事業を通して自然環境教育を行うとともに、それらに関する基礎的研究を行っています。

▶特別支援教育研究センター

特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育研究を総合的に、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童生徒等の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進しています。センターには、児童精神科医、特別支援教育士SV、臨床心理士、臨床発達心理士、作業療法士などを配属しています。

▶理数教育研究センター

現代的教育課題である「理数離れ」に対応し、21世紀の新世代の人材育成に必要な新しい理数教育システムの構築に地域や現場と一体となって取り組んでいます。本センターは、教材・カリキュラム開発や地域連携等の事業を推進する「教育プログラム推進部門」、オープン・サイエンス・ラボ、アドバンス・サイエンス・ラボの運営や先端的研究機関との連携等を行う「先端科学教育部門」等からなり、理数教育プログラムの開発、SST(スーパーサイエンスティーチャー)養成、公教育の支援のほか、理工系学部との連携や国際協力等の事業を展開しています。

保健センター

健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、人間関係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配属しています。

入試情報

平成30年度入試日程(平成30年4月入学者)

入試区分			出願期間	試験日
教育学部	推薦入試	地域枠 一般枠	11月2日(木)～ 11月8日(水)	12月16日(土)
	一般入試	前期日程	1月22日(月)～ 1月31日(水)	2月25日(日)
		後期日程		3月12日(月)
大学院教育学研究科	修士課程	9月募集	8月1日(火)～ 8月7日(月)	9月9日(土)
		2月募集	12月1日(金)～ 12月7日(木)	2月10日(土)
	専門職学位課程	9月募集	8月1日(火)～ 8月7日(月)	9月10日(日)
		11月募集	10月20日(金)～ 10月26日(木)	11月11日(土)
				11月12日(日)
		2月募集	12月1日(金)～ 12月7日(木)	2月11日(日)

- 推薦入試(地域枠)とは、奈良県内の高等学校を対象とした推薦入試です。
- 教育学部一般入試は、インターネットによる出願となります。
- 詳しくは各募集要項をご覧ください。

入試情報に関するお問合せ先

奈良教育大学 入試課
TEL 0742-27-9126 nyuusi@nara-edu.ac.jp

お問い合わせ先

- ☐ 入試に関すること(入試課) 0742-27-9126
- ☐ 学生の求人に関すること(学生支援課就職担当) 0742-27-9129
- ☐ 公開講座に関すること(企画連携課国際交流・地域連携担当) 0742-27-9108
- ☐ 施設利用(外部貸付)に関すること(財務課総務・決算担当) 0742-27-9112
- ☐ 研究協力、産学連携、寄付金に関すること(教育研究支援課学術・研究担当) 0742-27-9135
- ☐ 図書館の利用に関すること(図書館) 0742-27-9137
- ☐ ホームページ、広報誌、その他お問い合わせ全般(総務課秘書・広報担当) 0742-27-9104

